

第 125 回横浜市都市美対策審議会 報告資料

都市デザインの広報について

平成 30 年度 ビジョン等広報普及活動 上半期実績と下半期予定

★：実績 ◎：予定

1 発行物を作成して発刊

★都市デザイン関係資料配布

パンフレット日本語版 約 500 部（採用セミナー、栃木県庁、国土交通大学等）

パンフレット英語版 約 200 部（市大、シンガポール大、世銀、仁川都市公社等）

リーフレット 約 50 部（日枝小学校等）

都市デザインビジョン本編英語版 100 部（世銀ルーマニア）

★DLmarket 配信

都市デザインビジョン 冊子購入数：103!! ダウンロード数：日 4 英 1 （7月 1 日現在）

パンフレット日英、日本大通りマップ、歴史セミナー報告書、まち普請記録等も配信中。

モデル事業全体 延購入数：109 延ダウンロード数：128

◎都市デザインパンフレット増刷

日本語 3000 部・英語 1000 部（来庁者、イベント参加者、関係者等配布用）

2 都市デザインに触れ深める機会づくり

★出張講座・視察受け入れ等

4月 12 日、仁川都市公社 申入れ時訪問予定者 24 名

4月 20 日 横浜市立大学 受講登録者数 15 名程度

5月 16 日 宮城教育大学付属中学校 5 名

5月 17 日 24 日 みなとみらいかもめ SCHOOL 受講登録者数 20 名程度

5月 18 日 筑波大学 歴史遺産専攻学生および教員 24 名

5月 18 日 横浜国大 市庁舎見学 学生 4 名

5月 23 日 日枝小学校 児童数 36 名

6月 2 日 象の鼻テラス開館 10 周年企画キックオフトーク 80 名程度

6月 8 日 NPO 都市デザインワークス（仙台市） 10 名程度

6月 29 日 ヨコハマ創造都市を巡るリレーレクチャー 20 名程度

7月 5 日 プラットインスティテュート都市計画科 夏季日本視察 15 名程度

7月 8 日～14 日 ルーマニア都市整備技術支援（世界銀行） 3 都市

7月 10 日 （一社）日本建築美術工芸協会 講演会（有楽町） 40 名程度

◎『こどもアドベンチャー2018 体験！1 日都市デザイナー 横浜のまちを描いてみよう！』

8月 16 日 @日本大通りおよび市庁舎 参加者数 40 名程度（うち小学生半数）

◎インターン生受け入れ

8月 15 日～29 日 参加者数 3 名

◎ 都市デザイン研究会

年度内 3～4 回程度開催予定

◎ 横浜市技術職員対象現場見学会 ※人事委員会主催

2～3月頃 参加者予定数 30名程度（職員採用試験対象者向け）

◎ 横浜市新採用予定者向け都市デザインワークショップ

3月頃 参加者予定数 30名程度

3 研究機関との連携による都市デザイン活動の促進

◎『大学連携』

大学の知的資源・人材を活かし、都市デザイン活動の質を高めるべく、大学との連携事業に取り組んでいます。中期4か年計画においても「大学・地域・行政との連携によるまちづくり」の取組として位置づけられています。

今年度テーマ：関内・関外地区の公共空間に関する研究

取組期間：協定締結後、年度内まで

連携予定先：横浜国立大学野原研究室

4 都市デザイン行政の強化（行政職員の育成）

★ 局転入者まち歩き研修

4月17日 参加者 30名程度

◎『局横断プロジェクト』

テーマ①：ストック活用型エリア再生手法検討

開催時期：7月～1月 ※2か年計画の2年目

参加職員：都市整備局内8課15名 他局3局6名程度

リーダー：野田 サブリーダー：三川（都心再生課） アドバイザー：梶山

テーマ②：景観カフェ

開催時期：6月～1月

参加職員：都市整備局内5課12名 他局1局1名程度

リーダー：桂 サブリーダー：山田 アドバイザー：藤本（景観調整課）

5 都市デザイン行政の海外輸出

★マレーシア・セベランプライ市への横浜・都市デザインのノウハウ移転

内容：セベランプライ市旧市街地であるブキットマタジャン地区の歴史を生かした都市デザインビジョンの作成を横浜市大、民間都市プランナーと共同でJICAの草の根事業で行っている。

期間：2015・12～2018・12（予定）